

集録原稿作成要領

1 様式

令和5年度より「①研究報告」と「②実践報告」の2種類がある。

各々の様式をホームページよりダウンロードし、A4判横書きで2枚以内にまとめる。(引用文献、図表等を含む)

※用紙サイズ、余白、文字数、行数、フォント、段組等書式は設定済みです。(変更不可)

2 表題

簡潔明瞭に研究(または実践)内容を表すものとする。(14pt 中央揃え)

なお、副題を設ける場合は、副題の前後にー(ハイフン)を付ける。(10.5pt 中央揃え)

3 キーワード

3つ以上5つ以内とする。(9pt 中央揃え)

4 発表者名及び共同研究者名

発表者名の頭に○印を付ける。(9pt 中央揃え)

5 所属施設名

略さず正式名称を記載すること。部署名は不要である。なお、所属施設が教育機関の場合は、学科まで記載すること。(9pt 中央揃え)

6 本文

(1) 文字サイズは10.5pt、和文フォントは明朝体で全角、英文及びアラビア数字は半角とする。

(2) 項目立て

研究報告は【はじめに】【目的】【方法】【倫理的配慮】【結果】【考察】【結論】の7項目とする。
【はじめに】では、先行研究を検討した旨を明記し、【倫理的配慮】では、別紙2「研究における倫理的配慮とその記述方法」を参考に記載する。

実践報告は【はじめに】【目的(または実践の背景)】【実践内容】【倫理的配慮】【実践結果】【考察】【結論】の7項目とする。【はじめに】では、先行研究を検討した旨を明記し、実践報告で倫理審査を受けていない場合は、組織的な了承を得ていること、対象者への説明と同意・対象者への不利益や負担の配慮について等、内容を集録に必ず記載する。記載がない場合、不採択になるので注意すること。

また、項目立て以外では墨付き括弧【 】は使用しない。

(3) 文体は、「である」調に統一する。

(4) 外国語はカタカナ表記、外国人名や日本語訳が定着していない学術用語等は原語にて表記すること。

(5) 図表は、それぞれ通し番号とタイトルを付ける。表の番号とタイトルは表の上、図の番号とタイトルは図の下に入れ、中央揃えとする。○人、○%など単位を付ける。また、白黒印刷で判別できる明瞭なものとする。引用については、文献の引用と同様に出自を明示すること。

(6) 引用文献は、引用順に本文の引用箇所の肩に¹⁾ ²⁾と番号を付け、本文の最後に一括して引用番号

順に次のように記載する。なお、共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。

<雑誌掲載論文>

著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦年次）。

例）福島花子：看護研究の〇〇〇について，〇〇看護，25（11），p. 35-38，2008.

例）福島花子，郡山太郎，本町一子，他：看護の〇〇〇研究，第〇回日本看護学会論文集（看護管理），p. 5-8，2008.

<単行本>

著者名：書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

例）福島花子：看護実践研究の手引き（3），〇〇看護出版，p. 145，2006.

著者名：表題名，編者名，書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

例）福島花子：研究における〇〇，郡山太郎編，看護実践研究（2），〇〇出版，p. 76-88，2007.

<翻訳書>

原著者名：書名（版），発行年，訳者名，書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

例）Alice Williams：Nursing Research（4），2001，福島花子訳，看護研究（4），〇〇看護出版，p. 298，2003.

<電子文献>

著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦年次），アクセス年月日，URL.

発行機関名（調査/発行年次），表題，アクセス年月日，URL.

例）文部科学省，厚生労働省（2014），人を対象とする医学系研究に関する倫理指針，2015年4月10日閲覧，<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf>.

※公的機関から提供される情報（統計、法令等）、電子ジャーナルのみを対象とする

(7) 集録原稿形式

